

日本・アジア／米国間コンテナ貨物の荷動き動向について

(2018年10月〔往航〕速報値)

(公財) 日本海事センター 企画研究部

* 文中の%は、寄与度とシェア以外で特に記載がない場合は、対前年同期比を表します。

I. 往航（アジア 18 ヶ国・地域→米国）の荷動き

- (1) 2018年10月のアジア（18ヶ国・地域）から米国へのコンテナ荷動き量は、前年比2ヶ月連続の増加となる7.4%増の159.7万TEUと過去最高を更新。また、4ヶ月連続で150万TEUを超えとなった。また、1-10月の累計でも前年同期比5.4%増の1,452.4万TEUと過去最高を更新。
- (2) 国別では、日本（8.8%減）などが減少となったものの、過去最高を記録した中国（9.1%増）、韓国（18.2%増）、ベトナム（8.5%増）に加え、台湾（5.9%増）、インド（10.0%増）などが増加。地域別では、ASEAN（2.5%増）、南アジア（9.8%増）ともに増加。
- (3) 品目別では、「繊維及びその製品」（寄与度1.8%増）、「家具及び家財道具」（同1.0%増）、「床材・ブラインド等のプラスチック製品」（同0.7%増）などが増加に寄与。
- (4) 日本は、6ヶ月ぶりの減少となる8.8%減の4.9万TEU。品目別の1位（2017年の年計ベースの各国・地域の品目別順位、以下同様）の「自動車部品」（19.0%減）が9ヶ月連続の減少、3位の「タイヤ及びチューブ」（1.7%減）が2ヶ月ぶりの減少、4位の「建設機械」（0.2%減）が12ヶ月ぶりの減少。
- (5) 中国は、2ヶ月連続の増加となる9.1%増の105.7万TEUと過去最高を更新。1位の「家具及び家財道具」（5.7%増）、2位の「繊維及びその製品」（18.7%増）及び3位の「一般電気機器」（9.0%増）が2ヶ月連続の増加。香港は3ヶ月連続の減少となる8.3%減の2.7万TEU。
- (6) 韓国は、2ヶ月連続の増加となる18.2%増の7.9万TEUと過去最高を更新。1位の「自動車部品」（23.2%増）が5ヶ月連続の増加、2位の「一般電気機器」（19.9%増）及び3位の「タイヤ及びチューブ」（23.1%増）が3ヶ月ぶりの増加。
- (7) 台湾は、2ヶ月連続の増加となる5.9%増の5.5万TEU。1位の「建築用具及び関連品」（11.1%増）が5ヶ月連続の増加、3位の「家具及び家財道具」（11.9%増）及び4位の「床材・ブラインド等のプラスチック製品」（12.4%増）が2ヶ月連続の増加。
- (8) ASEANは、全体では30ヶ月連続の増加となる2.5%増の24.2万TEU。ベトナムは31ヶ月連続の増加となる8.5%増の10.8万TEU。過去最高を更新するとともに、4ヶ月連続で10万TEUを超え。1位の「家具及び家財道具」（13.3%増）が5ヶ月連続の増加、2位の「繊維及びその製品」（13.3%増）が7ヶ月連続で10%を超える増加、3位の「履物及び附属品」（26.6%増）が16ヶ月連続の増加。
- (9) 南アジアは、全体では4ヶ月連続の増加となる9.8%増の8.8万TEU。インドは4ヶ月連続で10%を超える増加となる10.0%増の6.7万TEU。1位の「繊維及びその製品」（8.7%増）及び2位の「家具及び家財道具」（10.5%増）が4ヶ月連続の増加、3位の「鋼材及びその製品」（6.4%増）が5ヶ月連続の増加。

表-1 2018年10月：積国・地域別荷動き

国・地域	往 航				
	荷動量 (TEU)	前年比 (%)	シェア (%)	1-10月の 累計(TEU)	前年同期比 (%)
18ヶ国・地域 合計	1,597,338	7.4	100.0	14,524,234	5.4
日 本	49,413	▲8.8	3.1	543,559	0.5
韓 国	79,111	18.2	5.0	690,729	4.8
台 湾	54,628	5.9	3.4	538,136	3.0
中国+香港 計	1,083,913	8.6	67.9	9,685,739	5.4
中 国	1,056,834	9.1	66.2	9,439,376	5.6
香 港	27,079	▲8.3	1.7	243,363	▲2.9
マカオ	2	▲93.2	0.0	169	▲30.5
ASEAN 計	242,145	2.5	15.2	2,236,332	5.7
シンガポール	8,437	▲6.9	0.5	82,645	6.9
フィリピン	11,077	5.3	0.7	103,327	▲2.5
マレーシア	24,741	▲2.0	1.5	243,256	1.5
インドネシア	33,356	1.1	2.1	314,049	1.7
タ イ	48,309	▲8.2	3.0	462,293	4.2
ベトナム	108,279	8.5	6.8	964,220	8.5
カンボジア	7,064	36.6	0.4	59,756	30.0
ミャンマー	880	11.0	0.1	6,784	25.6
南アジア 計	88,127	9.8	5.5	829,570	11.3
スリランカ	4,357	▲5.0	0.3	41,287	6.1
バングラデシュ	8,323	14.0	0.5	85,629	8.1
パキスタン	8,938	13.1	0.6	86,904	4.1
インド	66,508	10.0	4.2	615,750	13.2

(注) 集計対象は、日本、韓国、台湾、中国、香港、マカオの他、ASEANのうちシンガポール、フィリピン、マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマーの8ヶ国、南アジアではインド、パキスタン、スリランカ、バングラデシュの4ヶ国、合計18ヶ国・地域を対象としている。また、速報値ベースでの発表のため、後に若干の修正が加わる場合がある。

II. 品目別荷動き

- (1) 往航荷動き量を品目別にみると、荷動きを牽引している住宅関連3品目（「家具及び家財道具」、「建築用具及びその関連品」、「床材・ブラインド等のプラスチック製品」）の合計荷動き量は、5ヶ月連続の増加となる10.0%増の33.2万TEU（シェア20.8%）。

品目別でみると、「家具及び家財道具」は5ヶ月連続の増加となる7.3%増の21.8万TEU。「床材・ブラインド等のプラスチック製品」も5ヶ月連続の増加となる16.2%増の7.1万TEU。「建築用具及びその関連品」は2ヶ月連続の増加となる13.9%増の4.3万TEU。

- (2) 「繊維及びその製品」は5ヶ月連続の増加となる16.6%増の19.3万TEU。
- (3) 「一般電気機器」は2ヶ月連続の増加となる0.9%増の10.6万TEU、「テレビ・ビデオ等の映像・音響製品」は5ヶ月連続の増加となる14.2%増の4.8万TEU。
- (4) 「自動車部品」は2ヶ月連続の増加となる4.2%増の5.4万TEU、「タイヤ及びチューブ」は5ヶ月連続の増加となる6.0%増の4.3万TEU。

表-2 往航:2018年10月の品目別荷動き(上位10品目)

品目名	荷動量 (TEU)	前年比 (%)	寄与度 (%)	1-10月 前年同期比(%)	シェア (%)
1. 家具及び家財道具	217,778	7.3	1.0	4.6	13.6
2. 繊維及びその製品	193,058	16.6	1.8	6.3	12.1
3. 一般電気機器	105,789	0.9	0.1	1.4	6.6
4. おもちゃ	81,583	▲0.8	▲0.04	▲3.1	5.1
5. 床材・ブラインド等のプラスチック製品	71,243	16.2	0.7	9.3	4.5
6. 自動車部品	54,194	4.2	0.1	0.7	3.4
7. テレビ、ビデオ等の映像・音響製品	47,753	14.2	0.4	8.0	3.0
8. 履物及び附属品	44,291	10.5	0.3	5.5	2.8
9. 車両機器及び部品	43,285	12.0	0.3	9.2	2.7
10. タイヤ及びチューブ	43,121	6.0	0.2	6.4	2.7

Ⅲ. コンテナ運賃の動向

表-3 往航:コンテナ運賃の推移(2017年/2018年対比)

(1)EASTBOUND			(Drewry:Container Freight Rate Insight) 単位:米ドル											2018年11月7日		
積地	向け地			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
Shanghai (China)	Los Angeles (U.S.A)	2017年	20ft	1,830	1,820	1,320	1,350	1,380	1,150	1,190	1,500	1,400	1,240	1,260	1,120	
			40ft	2,300	2,270	1,650	1,660	1,690	1,460	1,520	1,910	1,790	1,600	1,620	1,420	
		2018年	20ft	1,270	1,360	1,060	1,070	1,230	1,200	1,410	1,810	1,930	2,010			
			40ft	1,630	1,740	1,410	1,430	1,510	1,540	1,770	2,330	2,510	2,590			
		前年比	20ft	-30.6%	-25.3%	-19.7%	-20.7%	-10.9%	4.3%	18.5%	20.7%	37.9%	62.1%			
	40ft	-29.1%	-23.3%	-14.5%	-13.9%	-10.7%	5.5%	16.4%	22.0%	40.2%	61.9%					
Shanghai (China)	New York (U.S.A)	2017年	20ft	2,840	2,660	2,380	2,240	2,180	1,920	1,990	2,290	2,020	1,670	1,770	1,700	
			40ft	3,570	3,420	3,000	2,770	2,720	2,420	2,520	2,910	2,500	2,150	2,270	2,130	
		2018年	20ft	2,300	2,350	1,860	1,870	2,030	2,000	2,280	2,750	2,910	2,800			
			40ft	2,910	3,090	2,420	2,400	2,510	2,530	2,880	3,480	3,720	3,540			
		前年比	20ft	-19.0%	-11.7%	-21.8%	-16.5%	-6.9%	4.2%	14.6%	20.1%	44.1%	67.7%			
	40ft	-18.5%	-9.6%	-19.3%	-13.4%	-7.7%	4.5%	14.3%	19.6%	48.8%	64.7%					
Yokohama (Japan)	Los Angeles (U.S.A)	2017年	20ft	1,710	1,650	1,610	1,570	1,600	1,580	1,510	1,760	1,600	1,530	1,530	1,470	
			40ft	2,090	2,010	1,960	1,910	1,920	1,930	1,840	2,150	1,950	1,870	1,870	1,800	
		2018年	20ft	1,550	1,600	1,500	1,500	1,550	1,540	1,690	1,880	1,790	2,100			
			40ft	1,890	1,960	1,830	1,830	1,880	1,880	2,110	2,360	2,140	2,620			
		前年比	20ft	-9.4%	-3.0%	-6.8%	-4.5%	-3.1%	-2.5%	11.9%	6.8%	11.9%	37.3%			
	40ft	-9.6%	-2.5%	-6.6%	-4.2%	-2.1%	-2.6%	14.7%	9.8%	9.7%	40.1%					
Yokohama (Japan)	New York (U.S.A)	2017年	20ft	2,810	2,920	3,050	2,680	2,860	2,680	2,440	2,750	2,490	2,310	2,280	2,410	
			40ft	3,380	3,500	3,650	3,200	3,420	3,190	2,900	3,310	2,890	2,750	2,700	2,880	
		2018年	20ft	2,780	2,750	2,540	2,560	2,400	2,420	2,570	2,880	2,760	2,880			
			40ft	3,380	3,300	3,060	3,200	2,900	2,920	3,140	3,550	3,210	3,520			
		前年比	20ft	-1.1%	-5.8%	-16.7%	-4.5%	-16.1%	-9.7%	5.3%	4.7%	10.8%	24.7%			
	40ft	0.0%	-5.7%	-16.2%	0.0%	-15.2%	-8.5%	8.3%	7.3%	11.1%	28.0%					

表-4 米国内地域別(西岸/東岸/ガルフ)荷動きの構成比の推移

米国内地域 集計年(月)	往 航			復 航		
	西岸揚 (%)	東岸揚 (%)	ガルフ揚 (%)	西岸積 (%)	東岸積 (%)	ガルフ積 (%)
2017年1月	63.5	33.0	3.5	52.3	41.0	6.6
2月	59.1	37.0	4.0	57.2	36.8	6.0
3月	64.7	31.5	3.8	59.4	34.7	5.9
4月	63.8	32.7	3.5	56.9	38.1	4.9
5月	64.8	32.0	3.2	57.6	37.8	4.6
6月	62.9	33.1	4.1	57.2	37.9	4.9
7月	63.3	32.6	4.1	56.3	38.4	5.3
8月	64.4	32.2	3.3	58.6	36.4	5.0
9月	60.4	34.8	4.9	58.3	36.6	5.1
10月	59.8	35.7	4.5	55.6	39.2	5.2
11月	65.7	30.2	4.1	57.5	37.7	4.8
12月	62.6	33.6	3.9	56.0	38.3	5.7
2018年1月	62.7	33.5	3.8	56.0	38.9	5.1
2月	62.3	33.7	4.0	56.5	37.9	5.6
3月	55.5	39.5	5.0	56.0	38.7	5.3
4月	64.8	31.4	3.8	54.9	40.3	4.8
5月	66.5	29.4	4.1	57.7	36.9	5.4
6月	60.2	35.3	4.6	56.6	37.6	5.8
7月	61.7	34.1	4.2	56.4	38.1	5.5
8月	59.9	35.6	4.5	56.8	37.6	5.7
9月	62.2	32.9	4.9			
10月	60.3	34.9	4.8			

日本・アジア／米国間コンテナ貨物の荷動き動向について

(2018年10月〔復航〕速報値)

(公財)日本海事センター 企画研究部

* 文中の%は、寄与度とシェア以外で特に記載がない場合は、対前年同期比を表します。

I. 復航（米国→アジア 18ヶ国・地域）の荷動き

- (1) 2018年10月の米国からアジア（18ヶ国・地域）へのコンテナ荷動き量は、前年比3ヶ月ぶりの増加となる**3.8%増の59.2万TEU**。また、1-10月の累計では前年同期比**1.5%増となる566.9万TEU**と過去2番目の荷動き量。
- (2) 国別で見ると、中国（**21.2%減**）などが減少したものの、日本（**1.9%増**）、韓国（**27.6%増**）、台湾（**42.9%増**）、ベトナム（**0.8%増**）、インド（**17.9%増**）などが増加。地域別では、ASEAN（**18.9%増**）、南アジア（**14.1%増**）ともに増加。

1-10月の累計を国・地域の荷動き動向をみると、日本（**4.0%減**）、中国（**22.0%減**）などが減少。韓国（**7.2%増**）、台湾（**29.6%増**）が増加。特にベトナム（**62.8%増**）、インド（**39.0%増**）などの大幅な増加に伴い、地域別でも**ASEAN（34.9%増）、南アジア（30.2%増）が大幅に増加。**
- (3) 品目別では「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」（寄与度**1.5%増**）、「レジン等の合成樹脂」（同**1.5%増**）、「繊維及びその製品」（同**1.0%増**）、「金属スクラップ」（同**0.9%増**）、「野菜及び種苗類」（同**0.8%増**）などが増加に寄与。
- (4) 日本は2ヶ月連続の増加となる**1.9%増の6.3万TEU**。1位（2017年の年計ベースの各国・地域の品目別順位、以下同様）の「動物用飼料」（**8.4%増**）及び2位の「肉及びその調整品」（**0.2%増**）が3ヶ月連続の増加、3位の「家具及び家財道具」（**9.8%増**）が10ヶ月ぶりの増加。
- (5) 最大の入荷国である中国は、19ヶ月連続の減少となる**21.2%減の16.4万TEU**。1位の「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」（**8.9%減**）が16ヶ月連続の減少、2位の「木材及びその製品」（**30.3%減**）が4ヶ月連続の減少、3位の「家具及び家財道具」（**12.8%減**）が2ヶ月連続の減少、4位の「動物用飼料」（**41.8%減**）が32ヶ月連続の減少、5位の「金属スクラップ」（**78.6%減**）が10ヶ月連続で**30%を超える減少**。香港は5ヶ月ぶりの増加となる**4.5%増の2.6万TEU**。
- (6) 韓国は6ヶ月連続の増加となる**27.6%増の6.7万TEU**。1位の「動物用飼料」（**19.7%増**）が2ヶ月ぶりの増加、2位の「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」（**63.4%増**）が6ヶ月連続で**20%を超える増加**、3位の「肉及びその調整品」（**26.2%増**）が14ヶ月連続の増加。
- (7) 台湾は8ヶ月連続で大幅な増加となる**42.9%増の5.6万TEU**。3位の「動物用飼料」（**7.6%増**）が13ヶ月ぶりの増加、4位の「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」（**47.3%増**）が7ヶ月連続で大幅な増加、5位の「穀物及びその調整品」（**30.1%増**）は2ヶ月ぶりの増加、6位の「繊維及びその製品」（**160.8%増**）は5ヶ月連続で大幅な増加、9位の「金属スクラップ」

プ」(838.2%増)は2017年に一時的に大幅に減少したものの、7ヶ月連続で激増。台湾の好調な荷動きは、紙・板紙(古紙を含む)、繊維製品、金属スクラップの大幅な増加によるもの。

- (8) ASEANは、全体では13ヶ月連続の増加となる18.9%増の15.3万TEU。ベトナムは、13ヶ月連続の増加となる0.8%増の3.6万TEU。1位の「繊維及びその製品」(0.2%増)が2ヶ月連続の増加、2位の「木材及びその製品」(20.4%増)が4ヶ月連続で大幅な増加、7位の「採油用の種及び油脂」(491.1%増)は5ヶ月連続で激増。
- (9) 南アジアは、全体では13ヶ月連続の増加となる14.1%増の6.3万TEU。インドは13ヶ月連続の増加となる17.9%増の4.8万TEU。1位の「紙、板紙類及びその製品(古紙含む)」(17.8%増)が14ヶ月連続の増加、5位の「家具及び家財道具」(7.5%増)が3ヶ月連続の増加、6位の「レジン等の合成樹脂」(154.4%増)が5ヶ月連続で大幅な増加。
- (10) 10月のインバランス(往航を100とした場合の復航の比率)は、前月比3.2ポイント改善の36.8%。インバランスを国・地域別に捉えると日本126.5%、韓国84.9%、台湾101.8%、ASEAN62.8%、南アジア70.5%。インバランスに最も影響を与える中国+香港は17.4%。

表-1 2018年10月:揚国・地域別荷動き

国・地域	復航				
	荷動量 (TEU)	前年比 (%)	シェア (%)	1-10月の 累計(TEU)	前年同期比 (%)
18ヶ国・地域 合計	592,201	3.8	100.0	5,669,483	1.5
日本	63,415	1.9	10.7	615,039	▲4.0
韓国	67,351	27.6	11.4	562,936	7.2
台湾	56,150	42.9	9.5	497,838	29.6
中国+香港 計	189,967	▲18.5	32.1	1,993,058	▲21.4
中国	164,102	▲21.2	27.7	1,800,107	▲22.0
香港	25,865	4.5	4.4	192,951	▲15.6
マカオ	15	▲70.7	0.0	282	▲54.9
ASEAN 計	152,509	18.9	25.8	1,384,729	34.9
シンガポール	19,906	73.1	3.4	141,021	32.2
フィリピン	13,461	22.5	2.3	112,810	11.1
マレーシア	20,618	40.0	3.5	176,300	60.6
インドネシア	39,136	34.2	6.6	342,474	30.2
タイ	19,932	▲6.5	3.4	204,166	12.8
ベトナム	35,939	0.8	6.1	369,698	62.8
カンボジア	2,276	▲37.2	0.4	22,304	▲18.5
ミャンマー	1,240	▲5.5	0.2	15,955	64.3
南アジア 計	62,794	14.1	10.6	615,601	30.2
スリランカ	2,033	▲7.8	0.3	20,268	9.1
バングラデシュ	2,907	▲16.2	0.5	37,696	8.1
パキスタン	9,934	13.7	1.7	107,731	12.6
インド	47,919	17.9	8.1	449,905	39.0

(注) 集計対象は、日本、韓国、台湾、中国、香港、マカオの他、ASEANのうちシンガポール、フィリピン、マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマーの8ヶ国、南アジアではインド、パキスタン、スリランカ、バングラデシュの4ヶ国、合計18ヶ国・地域を対象としている。また、速報値ベースでの発表のため、翌月以降に若干の修正が加わる場合がある。

II. 復航の品目別荷動き

- (1) 復航荷動き量を品目別にみると、荷動きを牽引している「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」は16ヶ月ぶりの増加となる9.1%増の10.3万TEU。
- (2) 「動物用飼料」は4ヶ月ぶりの減少となる5.7%減の4.5万TEU。
- (3) 「木材及びその製品」は3ヶ月連続の減少となる22.3%減の4.0万TEU。
- (4) 「家具及び家財道具」は2ヶ月連続の減少となる4.3%減の3.0万TEU。
- (5) 「採油用の種及び油脂」は6ヶ月ぶりの減少となる5.8%減の2.5万TEU。

表-2 復航:2018年10月の品目別荷動き(上位10品目)

品目名	荷動量 (TEU)	前年比 (%)	寄与度 (%)	1-10月 前年同期比(%)	シェア (%)
1. 紙、板紙類及びその製品 (古紙含む)	102,790	9.1	1.5	▲14.1	17.4
2. 動物用飼料	45,458	▲5.7	▲0.5	▲6.5	7.7
3. 木材及びその製品	39,817	▲22.3	▲2.0	▲1.6	6.7
4. 家具及び家財道具	29,524	▲4.3	▲0.2	▲3.6	5.0
5. 採油用の種及び油脂	24,994	▲5.8	▲0.3	15.0	4.2
6. レジン等の合成樹脂	22,967	61.6	1.5	16.2	3.9
7. 繊維及びその製品	22,581	33.7	1.0	10.1	3.8
8. 肉及びその調整品	21,915	1.7	0.1	▲2.8	3.7
9. 金属スクラップ	20,285	35.6	0.9	18.8	3.4
10. 野菜及び種苗類	14,989	42.0	0.8	19.7	2.5

III. コンテナ運賃の動向

(2)WESTBOUND		(Drewry:Container Freight Rate Insight、単位:USD/TEU,USD/FEU)											2018年12月10日			
積地	向け地			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
Los Angeles (U.S.A)	Shanghai (China)	2017年	20ft	600	600	640	650	670	640	620	640	630	630	640	660	
			40ft	760	750	780	780	780	760	740	750	750	750	750	770	770
		2018年	20ft	640	640	630	620	660	690	750	640	640	640	700	710	
			40ft	770	770	740	740	800	830	840	750	760	820	820		
		前年比	20ft	6.7%	6.7%	-1.6%	-4.6%	-1.5%	7.8%	21.0%	0.0%	1.6%	11.1%	10.9%		
			40ft	1.3%	2.7%	-5.1%	-5.1%	2.6%	9.2%	13.5%	0.0%	1.3%	9.3%	6.5%		
New York (U.S.A)	Shanghai (China)	2017年	20ft	960	970	940	960	960	930	910	920	900	900	910	910	
			40ft	1,180	1,200	1,170	1,180	1,160	1,120	1,090	1,110	1,080	1,080	1,090	1,090	
		2018年	20ft	910	910	880	880	870	880	820	820	790	840	880		
			40ft	1,100	1,100	1,070	1,060	1,040	1,130	1,070	1,070	1,030	970	1,010		
		前年比	20ft	-5.2%	-6.2%	-6.4%	-8.3%	-9.4%	-5.4%	-9.9%	-10.9%	-12.2%	-6.7%	-3.3%		
			40ft	-6.8%	-8.3%	-8.5%	-10.2%	-10.3%	0.9%	-1.8%	-3.6%	-4.6%	-10.2%	-7.3%		
Los Angeles (U.S.A)	Yokohama (Japan)	2017年	20ft	820	820	800	850	850	870	860	810	830	810	850	860	
			40ft	1,050	1,050	1,020	1,090	1,090	1,100	1,090	1,040	1,040	1,020	1,060	1,060	
		2018年	20ft	870	880	880	880	790	790	950	920	900	980	900		
			40ft	1,080	1,090	1,090	1,110	1,000	1,010	1,230	1,200	1,190	1,270	1,160		
		前年比	20ft	6.1%	7.3%	10.0%	3.5%	-7.1%	-9.2%	10.5%	13.6%	8.4%	21.0%	5.9%		
			40ft	2.9%	3.8%	6.9%	1.8%	-8.3%	-8.2%	12.8%	15.4%	14.4%	24.5%	9.4%		
New York (U.S.A)	Yokohama (Japan)	2017年	20ft	1,150	1,210	1,160	1,240	1,240	1,250	1,240	1,150	1,150	1,140	1,190	1,200	
			40ft	1,430	1,510	1,470	1,570	1,570	1,590	1,580	1,460	1,460	1,440	1,440	1,450	
		2018年	20ft	1,250	1,250	1,260	1,250	1,220	1,220	1,370	1,350	1,370	1,400	1,330		
			40ft	1,480	1,480	1,490	1,620	1,500	1,490	1,760	1,780	1,790	1,820	1,690		
		前年比	20ft	8.7%	3.3%	8.6%	0.8%	-1.6%	-2.4%	10.5%	17.4%	19.1%	22.8%	11.8%		
			40ft	3.5%	-2.0%	1.4%	3.2%	-4.5%	-6.3%	11.4%	21.9%	22.6%	26.4%	17.4%		

IV. 米国内地域別（西岸／東岸／ガルフ）荷動きの構成比の推移

米国内地域 集計年(月)	往 航			復 航		
	西岸揚 (%)	東岸揚 (%)	ガルフ揚 (%)	西岸積 (%)	東岸積 (%)	ガルフ積 (%)
2017年1月	63.5	33.0	3.5	52.3	41.0	6.6
2月	59.1	37.0	4.0	57.2	36.8	6.0
3月	64.7	31.5	3.8	59.4	34.7	5.9
4月	63.8	32.7	3.5	56.9	38.1	4.9
5月	64.8	32.0	3.2	57.6	37.8	4.6
6月	62.9	33.1	4.1	57.2	37.9	4.9
7月	63.3	32.6	4.1	56.3	38.4	5.3
8月	64.4	32.2	3.3	58.6	36.4	5.0
9月	60.4	34.8	4.9	58.3	36.6	5.1
10月	59.8	35.7	4.5	55.6	39.2	5.2
11月	65.7	30.2	4.1	57.5	37.7	4.8
12月	62.6	33.6	3.9	56.0	38.3	5.7
2018年1月	62.7	33.5	3.8	56.0	38.9	5.1
2月	62.3	33.7	4.0	56.5	37.9	5.6
3月	55.5	39.5	5.0	56.0	38.7	5.3
4月	64.8	31.4	3.8	54.9	40.3	4.8
5月	66.5	29.4	4.1	57.7	36.9	5.4
6月	60.2	35.3	4.6	56.6	37.6	5.8
7月	61.7	34.1	4.2	56.4	38.1	5.5
8月	59.9	35.6	4.5	56.8	37.6	5.7
9月	62.2	32.9	4.9	61.9	32.5	5.6
10月	60.3	34.9	4.8	55.6	37.9	6.5